

キウイフルーツかいよう病の見分け方

枝・蕾の見分け方

かいよう病 Psa3

かいよう病類似症状

Point!!

樹液が赤褐色に変色 ➡

枝の発症は
樹液の流動開始(2月)から5月に多い
一般的に中国系の症状は激しい

まれに白濁 普通は赤褐色

凍害の裂傷



凍害の裂傷



冬
樹液漏出

識別困難な症状は関係機関
で検査を受けてください

透明な樹液。
赤褐色にならない



傷から漏出したゼリー状の樹液
が白色～黄色～**橙色**に変色 ➡

皮目や枝基部から

捻枝や枝折れの傷



早春
樹液漏出



キクイムシ
の食入孔

奈良県農業研
究開発センター
提供



激発すると、

しおれ

芽枯れ症状

霜害

キクビスカシバの被害



春
新梢枯死



枝病斑ではPsa3
かPsa1かは区
別できません。

周辺に赤褐色の
樹液や葉の褐点

ガクの褐変

花腐細菌病

健全芽と混在
赤褐色の樹液なし

原因不明

赤枠は中国系品種、緑枠は
ハイワードを撮影。必ずしも、
品種特有の症状ではない

開花前か
ら、ガクや
花弁が褐
変



春
花蕾枯死



太い枝だけ
に樹液の跡

やくの黒変に特徴が
あるが、識別困難



キウイフルーツかいよう病3系統の見分け方 (葉)

春
初
夏

夏
秋

かいよう病 Psa3

Point!!

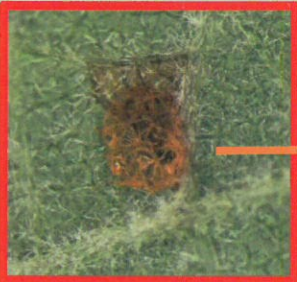
葉脈に囲まれた小褐斑
元から10葉までの葉に多い

4月の症状はかいよう病の可能性が大



病斑に品種間差はない

多発すると融合して大病斑になる



赤褐色の樹液が漏出することも

硬化後の葉の病斑は分かりづらい

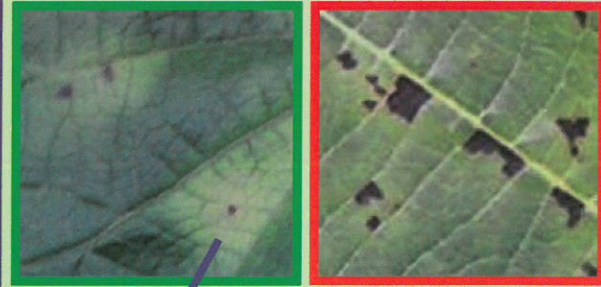


硬化葉に新たな病斑は出来ません



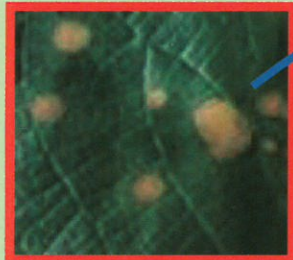
赤柢は中国系品種、緑柢はハイワードを撮影。必ずしも、品種特有の症状ではない

かいよう病 Psa1



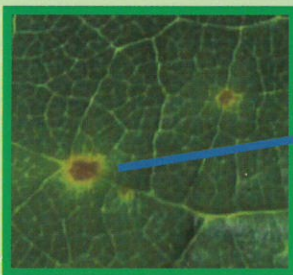
ハイワードでは大きなハローができることもある

除草剤の薬害



明褐色で滴の跡のような円形斑

原因不明



葉脈上の斑紋。葉脈に囲まれていない

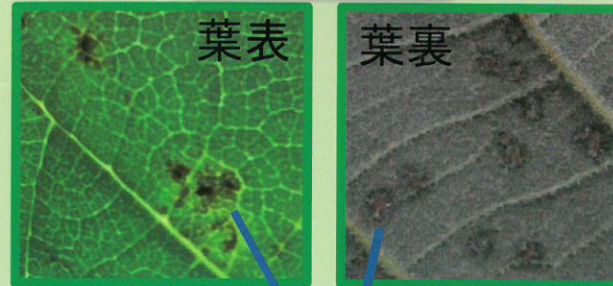
炭そ病



梅雨頃～灰色病斑融合して大病斑になる

かいよう病 Psa3類似症状

原因不明



透過光でハローが見える。葉裏に樹液の漏出

角斑類似症

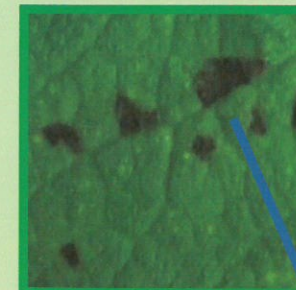
識別困難。様々な菌が原因

花腐細菌病



5月頃～

角斑病等



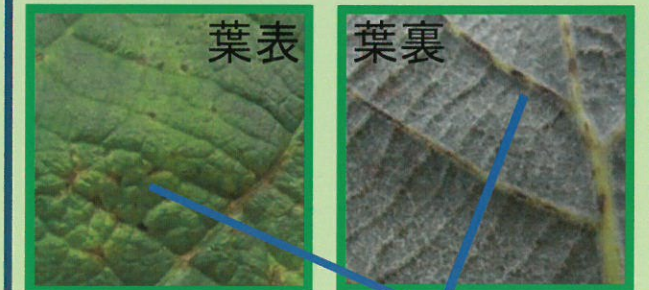
5月頃～秋病斑はやや大きい。多雨により広まる。融合して大病斑になる

識別困難な症状は関係機関で検査を受けてください



銅剤の薬害

開花期頃からの散布で生じやすい



葉脈に黒～茶褐色斑点
葉裏めだつ

ハロー様の黄色斑

すれ等の傷



夏～暗褐色斑
大きかつやがある